チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	12	十分なスペースでのびのびと活動できており、学習室では療育が行いやすいよう机の位置を工夫しております。	
	2	職員の配置数は適切である	12	職員間で情報共有を行いながら役割を分担し、行動しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	学習室、プレイルームと児童が分かりやすいような環境を整えております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	12	常に安全面に配慮して児童の活動に合わせた空間を意識しております。	毎日の掃除を徹底し、整理整頓をするように努めてまいります。
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	12	個室はありませんが、集中できるようパーテーションを活用し、環境の工夫を行っております。	児童の状況に合わせて落ち着いて過ごせるような環境を整えてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	12	業務分担の見直しや新しい教材の作成などを進めて、振り返りを実施しております。	
	7	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	保護者様のご要望を把握したうえで、必要な相談や対応を行うよう心がけております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	12	リフレクシオン会議や朝礼を行い、情報交換を行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会や社内研修を開催する機会が確保されている	12	行政や他機関からの研修案内があった場合には、適宜参加機会を確保しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成・公表されている	12	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	個々の児童に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	保護者様のニーズ、困り感を軽減し、適切な目標設定ができるようにしております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	12	会議や業務の中で、職員全員で意見を出し合いながら検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている	12	職員間で計画書を共有し、支援を進めております。	
	15	児童の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	12	プリントや療育用具を使った評価や様子の観察、保護者様・園からの情報を用いた評価を行っております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援」「地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	児童ごとに必要な支援要素を整理し、支援計画の立案に反映しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	担当を決めリフレクシオン会議等で話し合い、季節や年齢に配慮した活動内容の計画を立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	段階を追って成長が見えるプログラムを考えていくように取り組んでおります。	
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	12	児童一人ひとりに合わせた個別支援を中心に実施しておりますが、児童の状況に合わせてさまざまな課題を助成し、少人数での活動を組み合わせております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	12	児童に適した支援を行うため、リフレクシオン会議等で職員間の情報共有を徹底しております。	朝の送迎が多い際は朝礼ができない事もある為、時間を見つけてできるように努めてまいります。
関係機関や保護者様との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	保護者様から尋ねられたことなどを職員全員に周知し、話し合いをしております。	支援の振り返り等、その日にできなかったことをリフレクシオン会議等で共有する時間を作ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	個人経過記録により、職員間で支援の検証、改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	12	児童の様子や変化をふまえ、定期的にモニタリングを実施し、支援計画を見直しております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参画している	12	児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加し、児童の現状を共有し、事業所での様子を会議の中でお伝えしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	12	医療的ケアが必要な児童は現在在籍しておりませんが、必要時は連携を行ってまいります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	保護者様に同意を得て支援の方向性、計画的な内容の適達や、送迎時の家族支援で情報共有を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小・中学校）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	就学に向けてのアドバイスや学校教育課との連携を行っております。	未就学児の事業所の為、分らない職員が多いので、担当の職員がリフレクシオン会議等で情報の提供ができる場をつくってまいります。
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている	12	事業所連絡会などを通して、他の事業所と情報を共有しております。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている	12	専門の先生を招いて研修等を行っております。	
	30	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	児童発達支援管理責任者が参加し、発表の場では積極的に考えを述べることができております。	
保護者様への説明責任等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けている	12	担当職員が事業所連絡会や保育所等訪問連絡会、子ども部会支援連携部会に参加し、話し合う場を設けております。	他事業所や専門機関との連携が足りない為、機会があれば連携できる場を設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の幼稚園等と他の児童と活動する機会がある	12	送迎時などに園の先生と連携を取るよう心がけております。	個人情報に触れる恐れがある為、交流会はできておりません。
	33	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	12	連絡帳や送迎時に利用状況をお話し、安心して預けて下さるよう配慮しております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	12	相談等があった際は、職員で話し合い、対応するよう心がけております。	事業所では家庭プログラム等の支援は行っておりません。
	35	定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	その都度親身になり助言を行ったり、また必要に応じて関係機関との情報共有等も行ってまいります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めています。また、質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めてまいります。	
	37	児童発達支援計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	12	アセスメントやモニタリングにて児童や家族のご意向の確認を行っております。	
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	12	契約や更新時に、保護者様へ支援内容について丁寧かつ分かりやすく説明を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	12	開催できていないので、交流する場を設けられていません。	個人情報に触れる恐れがある為、開催できておりません。
	40	児童や保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	保護者様から相談があった際は、すぐに上司へ報告し、朝礼などで全職員へ周知しております。	
非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	12	事業所だより等を利用して、活動の様子や行事予定、情報の発信をしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意している	12	個人情報に関する書類は鍵付きの書庫で保管し、使用時はパスワードなどで外部から見えないよう管理しております。	
	43	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	送迎時などに、視覚的・聴覚的に分かりやすい方法で情報伝達を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	12	これまで交流の機会はありませんでしたが、今後は検討してまいります。	保護者様のご意向を伺いながら保護者会等の開催を検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	各種マニュアルの周知を行い、定期的に訓練を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	BCPを策定し、災害時に必要な道具を揃え、訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	12	アレルギー情報は契約時に確認し、職員全体で共有のうえ、他者から見えない場所に掲示しております。	
	48	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	12	職員間でアレルギー情報を共有し、安全に配慮したおやつの提供を行っております。	全環境が把握できるように、保護者様との契約後に情報交換ができる場をつくってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	12	安全計画を作成し、適切な安全管理を行っております。	
	50	児童の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している	12	契約時に保護者様に説明を行っております。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している	12	小さな疑問や違和感があっても、すぐに報告し、朝礼や会議で共有して対応しております。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	虐待防止の理解を職員間で共有し、事業所内研修にて周知しております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、相対的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	現在、身体拘束は行っておりませんが、必要な場合は保護者様の同意を得たうえで、職員全員で情報を共有し、適切に対応してまいります。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。